

# 参加資格確認書の記入について

《監督・成年選手用》 《少年選手用》

～記入者の皆さんは黒太線枠内の記入をしてください～

○競技名…自分の競技名を記入してください。

例 レスリング 陸上競技 バレーボール など

○種目、階級等…出場種目、階級等を記入してください。監督は必要ありません。

- ・レスリング→グレコローマンスタイル 60kg級 (G60kg級 と略してもいいです)
- ・陸上競技→走幅跳
- ・馬術→自由演技馬場馬術 ホースマネージャー など
- ・バレーボール→種目、階級等がないため未記入でいいです。

○役職…《監督・成年選手用》のみ

監督・兼任・選手に該当するものに☑してください。

※ホースマネージャーは監督に☑をしてください。

○氏名、フリガナ…中央競技団体等で登録されている氏名を正確に記入してください。

タカハシの『高』『高』 ヤマザキの『崎』『崎』

サイトウの『斉』『斎』『齊』『齋』

○生年月日…西暦で記入してください。

※競技及び種目によって参加可能年齢が違うため、生年月日に誤り等があると内容によっては参加資格違反となり、団体戦ではチーム全体が参加資格違反となる可能性があります。また個人ではその選手が参加資格違反となる可能性があります。

なお、前年度の生年月日と異なって登録してしまうと別人として扱われてしまいます。

○学校名又は所属クラブ名…《少年選手用》のみ

学校名で出場する場合は○○高等学校で記入し、学年を記入してください。クラブとして出場する場合はクラブ名を正式名称で記入してください。その際学年は記入する必要はありません。

なお、プログラム上では高等学校など略さずに記載するよう日本スポーツ協会から指導されています。ただし報道発表時は極力短くしなければならぬため、高校等の表記となります。

○勤務先又は所属先…《監督・成年選手用》のみ

株式会社など略さずに正式名称で記入してください。

中学校、高校などに勤務している方は教諭か職員どちらかに○をつけてください。※講師の方は教諭となります。

～監督（選手兼監督含む）のみ～

- 日スポ協指導者資格名…競技名は不要です。上級コーチ、コーチなどのみで記入してください。
- 日スポ協登録番号…7桁で記入してください。
- 有効期限…期限を正確に記入してください。
- 担当監督種別…該当する項目に☑してください。
- 競技別必要資格…競技毎に監督する際に必要な資格等ありましたら記入してください。番号も同様です。

＜監督・成年選手用＞

1. ①・②について過去2大会の出場状況を該当項目に☑をつけ、他県の場合、都道府県名を記入してください。

＜少年選手用＞

1. 過去2大会の出場状況を該当項目に☑をつけ、他県の場合、都道府県名を記入してください。

①参加の有無と所属チーム等(個人も含む)出場都道府県

…県予選会（県民体育大会や競技団体が指定する選考会、選考大会）に出場しているか。

ミニ国（東北総体※冬季大会はありません。）に出場しているか。

本国体（国民体育大会）に出場しているか。

出場している場合は『有』に☑、出場していない場合は『無』に☑をしてください。

なお、ミニ国又は本国体において予備登録してされている場合は『有』になります。

選手団として登録（出場）した県に該当するものに☑をしてください。

また、他県の選手団として出場した場合は、他県に☑をし、その都道府県名を記入してください

※県予選会等の参加履歴については通常、過去2大会で他県からの参加歴がある場合は県を変えて出場することができません。

特例として『参加資格確認書』の2-(2)以下のA～D(少年選手用はEまで)に当てはまる場合のみ参加可能となります。

②当時の登録種別 ＜監督・成年選手用＞のみ

…当時、出場した際の種別に☑を入れてください。なお、監督は☑不要となります。

2. 国体参加資格を確認します。該当項目に☑をつけてください。

※(2)は1-①で全て無に☑を入れた人は記入不要

(1) 日本国籍を有している。または「永住者」（特別永住者を含む）である。

…『はい』『いいえ』どちらかに☑をしてください。

(2) 県予選会及びミニ国を含め、過去2大会(第72回(愛媛国体・秋田ミニ国)、第71回(岩手国体・青森ミニ国))に他県選手団として出場しており、今年度本県選手団として出場するために、以下のA~D(少年選手用はEまで)E特例措置制度を使用する場合は該当項目に☑をつけてください。

…過去2年間のうち、直近大会で他県選手団として出場した場合、以下の特例措置制度を使用しなければ、本県選手として出場することはできません。

成年選手…『A, 新卒業者』、『B, 結婚・離婚』、『C, ふるさと』、『D, 震災特例』

少年選手…『A, 新卒業者』、『B, 結婚・離婚』、『C, 一家転住』、『D, JOC アカデミー』、『E, 震災特例』

上記のうち、参加資格確認書の文を読んで、該当するものを選択してください。

### 3. 今大会参加にあたり、該当する項目ア~ウ(少年選手はエまで)に☑をつけて、市町村名等を記入してください。

※成年選手のウの場合、ふるさと登録した卒業学校名を記入する。

※少年選手のエの場合、卒業または転校する前の学校名を記入する。

…競技団体の指示に従い、該当するア~ウ(エ)に☑をし、市町村名を記載してください。特に指示が無い場合は成年選手、少年選手ともにアとイに☑をし、市町村を記載してください。

『エ, JOC エリートアカデミーに係る特例措置』に記入する場合は県内の卒業小学校又は中学校名を記入してください。

# 令和元年度 参加資格確認書 《監督・成年選手用》

国体参加に向け、過去2大会の登録状況と現状を確認し、秋田県選手団としての参加資格を確認します。  
参加資格違反防止のため下記の問いについて記入してください。 ※太線枠内に必須記入 点線枠内は必要時記入

～ 記入は本人によるボールペン直筆でお願いします ～

※できるだけ丁寧に記入してください。役職及び性別については☑を入れてください。

競技名	種目 階級	等	役職	監督 ☐	兼任 ☐	選手 ☐	性別	男性 ☐	女性 ☐
フリガナ	生年月日	西暦	年	月	日	生まれ			
氏名									
勤務先・所属先 (正式名称)				在学( 年生)・教諭・職員					
以下、監督(選手兼監督含む)のみ記入してください。									
日スポ協指導者 資格名	日スポ協登録番号 (7ケタ)			有効 期限	20	—	—	—	—
担当監督種別	成年男子 ☐	成年女子 ☐	少年男子 ☐	少年女子 ☐	全種別 ☐	競技別 必要資格	番号		

1. 過去2大会の出場状況を該当項目に☑をつけ、他県に☑の場合、都道府県名を記入してください。

開催期	①参加の有無と所属チーム等(個人も含む)出場都道府県		②当時の登録種別
平成30年度 (第73回大会) 【福井】	県予選会	☐:有 ・ ☐:無	左記のうち、一カ所でも有に☑した人のみ記入 監督は記入不要
	ミニ国	☐:有 ・ ☐:無	☐:秋田県
	本大会	☐:有 ・ ☐:無	☐:他県:(都道府県名: )
平成29年度 (第72回大会) 【愛媛】	県予選会	☐:有 ・ ☐:無	左記のうち、一カ所でも有に☑した人のみ記入 監督は記入不要
	ミニ国	☐:有 ・ ☐:無	☐:秋田県
	本大会	☐:有 ・ ☐:無	☐:他県:(都道府県名: )

2. 国体参加資格を確認します。該当項目に☑をつけてください。※(2)は1-①で全て無に☑を入れた人は記入不要

(1) 日本国籍を有している。または「永住者」(特別永住者を含む)である。	☐:はい	☐:いいえ
(2) 県予選会及びミニ国を含め、過去2大会(第73回(福井国体・宮城ミニ国)第72回(愛媛国体・秋田ミニ国))に他県選手団として出場しており、今年度本県選手団として出場するために、以下のA～Dの特例措置制度を使用する場合は該当項目に☑をつけてください。		
☐: A 平成29年度(平成30年3月)または平成30年度(平成31年3月)に高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校卒業した。	新卒業者 H 年3月卒 校名:	
☐: B 平成29年5月1日～平成31年4月30日までに法的手続きを含め、結婚または離婚した。	結婚・離婚	
☐: C 「ふるさと選手制度」を活用する。または解除する。(居住地もしくは勤務地で参加する)	ふるさと	
☐: D 「東日本大震災に係る選手及び監督の国体参加資格の特例措置」を活用する。	震災特例	

3. 今年度の国体・ミニ国に出場するにあたり、該当する項目ア～ウに☑をつけて、市町村名等を記入してください。ア～イの場合は市町村、ウの場合はふるさと登録した卒業学校名を記入する。

選択肢	区市町村名	詳細 (必ず一読のうえ確認ください)
☐: ア 居住地を示す 現住所 【競技団体に統一してください】	市町村名	平成31年4月30日以前～競技会終了時まで引き続き”住民票を含む”居住地が秋田県内にあり、生活していること。 住民票の「住民となった日」が今年4月30日以前の日付であるか要確認。
☐: イ 勤務先 【競技団体に統一してください】	市町村名	平成31年4月30日以前～競技会終了時までの勤務先の所在地が秋田県内であること。 (勤務とは実際に通勤し、その会社と雇用関係があること)
☐: ウ ふるさと 【ふるさと制度使用選手のみ】	卒業学校名:	卒業した中学校または高校の所在地が秋田県内にあり、そのいずれかを選択し登録する。 (※登録は競技団体を通じて行う。登録後の変更は不可) ※専修学校などは不可(秋田公立美術大学附属高等学院など)

※参加資格の詳細は、日本体育協会・国体参加資格、年齢基準等の解釈説明、「日常生活」ならびに「主たる勤務実態」の考え方を参照

競技団体記入欄 (選手は記入しないでください)

参加資格確認書をチェックし、システム入力したことを証明します。

参加申込担当者 印